



東北横断自動車道釜石秋田線
災害復旧事業 釜石港湾口地区湾口防波堤

『みなと』と『みち』が地域経済の復興を支える

現在 now

将来 future

<港湾整備>



【被災時】

港内

港外

港湾機能の強化

【防波堤復旧完了(平成29年度)】



湾口防波堤(南堤)復旧状況
(平成28年5月、防波堤整備:約63%)

港湾機能強化によるコンテナ取扱貨物の増大が見込まれる



- 【釜石港ガントリークレーン】
・平成28年度整備予定 → **コンテナ取扱能力向上**
- 【国際コンテナ航路新規開設】
・平成29年度予定 → **港湾利用の促進**

<道路整備>

〔未整備区間における現道の課題〕
市街地内への物流車両流入による**渋滞の発生**



釜石市内の渋滞状況

【港湾関係者の声】
横断道の整備により、花巻市や北上市・盛岡市の企業の釜石港利用がさらに見込めるのではないかと期待。

(釜石市港湾振興課・企業立地課ヒアリング調査結果)



全線開通による33分の時間短縮
(98分→65分)



自動車関連工場、金属加工工場等の多数の企業進出
【東北横断自動車道釜石秋田線】平成30年度 全線供用(予定)
国際コンテナ航路新規開設(平成29年度予定)

港湾機能

物流ルートの強化

インフラ

世界屈指の太陽光パネルメーカーが国内初の物流倉庫を建設中(平成29年春フル稼働予定)。また、国内物流大手も同地区に倉庫を建設し、平成28年3月営業開始

国際フィーダー航路と東北横断自動車道釜石秋田線(平成30年度完成予定)の整備による物流ルート構築が主な立地理由

